

令和8年度授業改善推進プラン評価（成果と課題）表

文京区立明化小学校

【第1学年】

	成果	課題
国 語	・平仮名や言葉の学習では、具体物や絵、動作などを取り入れながら、言葉への興味・関心を高めることができた。音読や発表の活動を繰り返し行うことで、少しずつ声の大きさを意識して読んだり、自分の考えを言葉で伝えたりすることができるようになってきた。	・文章の内容を読み取ったり、自分の考えを言葉で表現したりすることには個人差が大きい。今後は、挿絵やキーワードなどを手掛かりにして内容を捉えられるようにするとともに、児童が自分の言葉で考えを表現する時間を確保していく。
算 数	・1学期の知識・技能は、到達度が90%以上だった。授業内でコースによっては練習問題に取り組んだ。ブロック操作やカードなどの具体物の操作を通し、日常生活の事象から数学的な見方・考え方を働かせることができた。	・思考力・判断力・表現力では、一部の児童が内容の理解が伴わず、正答率が50～60%の児童がいた。特に文章問題で問題の意味が理解できず、間違うか、または空欄の児童が見られた。問題文を読み取る際に、分かっていること、聞かれていることにアンダーラインを引き、問題の理解を促す。
生 活	・学校探検や身近な自然との関わりなど、実際に見たり触れたりする体験を大切にすることで、身近な環境への興味・関心を高めることができた。また、友達と一緒に活動する中で、気付いたことを伝え合ったり、相手の考えを聞いたりする姿が見られるようになった。	・活動そのものは意欲的に取り組む一方で、活動を通して気付いたことや感じたことを言葉で整理し、表現することには課題がある。今後は、活動後の振り返りの時間を充実させ、写真や絵、言葉などを活用しながら、気付きや思いを表現する力を育てていきたい。
音 楽	・歌唱やリズム遊び、身体表現など、体を動かしながら音楽を楽しむ活動を取り入れることで、音楽に親しみ、意欲的に活動する児童が増えた。友達と一緒に歌ったり演奏したりする経験を通し	・音程やリズムを意識して歌ったり、友達の音を聴きながら表現したりすることには個人差がある。今後は、繰り返し歌ったり聴いたりする活動を大切にしながら、一人一人が安心して表現で

	て、音やリズムを合わせる楽しさも味わうことができた。	きる場を設定していく必要がある。
図画工作	・1学期は、教科書に沿って、造形的な見方・考え方を働かせ、自分の思いを表現することを楽しむことができた。材料や用具の特性を生かし、表したい思いに合わせて取捨選択する姿が見られ、創意工夫をした作品が見られた。	・单元ごとに、材料や用具の特性を生かしながら思いに合わせて主体的に活動に取り組むことはできたが、自分の思いを表現するのに戸惑う児童も見られた。单元ごとのテーマやめあてを工夫し、身近なものや既習事項が生かせる材料を用いるなどして、主体的に取り組めるようにする。また、対話的な鑑賞活動を通して多様な価値観に触れ、自らの表現をより豊かで深いものへと高められるように指導する。
体 育	・体ほぐしの運動や、ボールあそび運動など、どの運動にも主体的に参加する児童が多く、楽しみながら技能や体力を高めることができた。 ・運動遊びに親しむ児童が多く、意欲的に運動に取り組むことができ、体力を高めることができた。	・高度なルールの説明を理解できない児童がおり、また、ルールを理解できても深く思考することができない児童が多い。ルールを説明する際に分かりやすい解説を心掛け、理解できていない児童には個別での指導を行い、全体に参加できるように促す。